

インフルエンザワクチン「フルミスト」

接種時の注意事項

フルミストは、鼻腔内に噴霧するタイプの生ワクチンです。従来の注射型ワクチンと異なり、接種時には特有の注意が必要です。以下に、接種前後の注意事項や、接種できない場合についてまとめてありますので、必ずご一読の上ご予約ください。

対象年齢と回数

- 日本での対象は **2歳～18歳**、**1シーズン1回**（0.2 mL：左右の鼻に各 0.1 mL）です。
- 年齢だけでなく、動かずに鼻腔内へ噴射することが可能なお子さんが対象となります。

接種できない／避けるべき方

- **妊娠中の方**
- **明らかな免疫不全**がある方、免疫抑制剤や全身性ステロイド治療中（または中止後 6 か月以内）の方。
- **重い喘息や喘鳴**がある方
- **卵・鶏肉、ゼラチンにアレルギーの可能性**がある方。
- **ご家族や身近に授乳中の方、乳児、免疫不全の方がいる場合**

お薬との関係

- サリチル酸系（アスピリン等）・一部解熱鎮痛薬（ジクロフェナク、メフェナム酸）の併用はライ症候群などのリスクが指摘されています。自己判断で内服を続けず、必ずご相談ください。
- 他の生ワクチンを接種した場合、一定期間（通常 4 週間）空けてからフルミストを接種してください。また接種後次に生ワクチンを接種する場合も 4 週間空ける必要があります。

下記の症状がある方は医師にご相談ください

- 鼻づまりや重い鼻炎がある場合は、ワクチンの効果が下がる可能性があるため、体調の良い時に接種することが望ましいです。

周囲への配慮

- 接種後数週間はワクチン由来ウイルスを鼻咽頭から排出する可能性があり、**迅速検査が陽性**になることがあります。

よくある副反応（多くは軽く数日で改善）

- 鼻水・鼻づまり（約 59%）、せき（約 28%）、のどの痛み（約 18%）、頭痛（約 11%）、ほか発熱・だるさ・筋肉痛など。重いアレルギー（アナフィラキシー）はまれですが、息苦しさ、全身じんましん、顔や喉の腫れなどが出たらすぐ受診してください。

費用について

- 自費（補助なし）で 8500 円、15 歳以下（中学 3 年生まで）で補助券ありの方は 4500 円となります。